

— 対馬市 —

平成22年6月発行

No.23

社協だより



社会福祉法人
対馬市社会福祉協議会

〒817-1201 長崎県対馬市豊玉町仁位94-5
TEL 0920-58-1432 FAX 0920-58-1183
E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tsushima-shakyo.jp/>
(対馬市社会福祉協議会で検索してください。)



しま 対馬の老人 達人塾

お年寄りの 主張大会

※このページの記事は5ページに掲載しています



今回の主な内容

- ごあいさつ.....2
- 平成22年度事業計画／収支予算...3~4
- トピックス.....5
- ボランティアのページ.....6
- 御寄付御礼.....7



この広報誌は、皆様から寄せられた会費並びに共同募金配分金で作られています。

ごあいさつ

対馬市社会福祉協議会

会長 木寺和福



本年3月1日の理事会において、対馬市社会福祉協議会の会長として就任いたしました木寺と申します。

前会長の平間氏は、2期4年間に亘り、地域福祉向上のためご活躍され、在任中は、地域福祉推進のための市民主体の行動計画である「対馬市地域福祉活動計画」や本会が今後の活動の方向性や理念を中長期的に定めた「対馬市社会福祉協議会基盤強化・活動中長期計画」の策定にご尽力されるなど、その功績は非常に大きく、対馬市社協の礎を築いていただきました。その後任として、会長職の責務の重さを痛感しておりますが、選任されたからには、全力を尽くして職責を全うする覚悟でございます。

さて、近年、少子・高齢化が急激に進行するとともに、世界的な経済不況の影響、あるいは、地方分権や三位一体改革による地方行政の財政状

況の悪化等の影響を受け、住民の生活環境の変化に伴い、福祉ニーズは、多種・多様化の一途をたどっております。

特に対馬地域におきましては、働き盛りの若い世代の人たちが雇用の場を求め島外に流出し、過疎化が進行、高齢者のみ世帯が急増している中で、誰もが安心して暮らすことができる地域社会を実現するためには、市民や関係者がお互いに手を取り合った協働による「地域福祉活動」が重要となつてきます。

このような現状を踏まえ、社協は地域福祉を推進する団体として、小地域での福祉課題やニーズの掘り起こしを行い、市民主体に基づいた社協活動の展開が必要となります。

社協は、多くの市民や団体等の参加による市民会員が基本で、市民のご理解とご協力によって成り立っております。言いかえれば、社協の基盤は市民であり、市民に信頼され

ることにより基盤の強化につながるものと考えています。

そのために

- ① 地域福祉活動計画の実現に向けた社協活動の展開
 - ② 安定した財源確保のための信頼される社協づくり
 - ③ 市民に信頼される社協運営のための体制整備
- 以上3つの柱を基本として、目標達成のため、今後事業活動を展開してまいります。

対馬市社会福祉協議会は、対馬の地域福祉を推進する団体として、自らのあるべき姿の再確認を行いながら、誰もが安心して暮らすことができる福祉の対馬（しま）づくりのため、役員一丸となつて専心努力してまいりますので、皆様方の力強いご支援と大きなご協力を更にご賜りますようお願い申し上げます。

対馬市社会福祉協議会 役員

(任期 平成22年3月1日～平成24年2月29日)

会長 木寺和福

副会長 寺崎俊治

理事 古藤只充

小川博子

吉田千鶴代

岡野利雄

吉村正孝

扇照幸

下條俊道

梅野茂希

評議員

白水志芳

初村知子

樺島悦三

鍵本妙子

小山博

江口栄

松村幸

儀敏彦

米田生

津屋秀則

佐伯利之

岡野計政

田口徹

日高光博

荒木美代子

比田勝利章

武末伸夫



平成22年度事業計画

平成21年度策定しました、「対馬市社会福祉協議会基盤強化・活動
中長期計画」に基づき、平成22年度事業計画の承認を得ました。

基本計画1 **誰もが安心して暮らすことができる福祉の対馬づくりを すすめます**

- 実施計画(1) ボランティアや市民活動の振興・支援、福祉教育の推進に努めます
- ① ボランティア・市民活動センターの充実強化
 - ② ふれあい学習の推進
- 実施計画(2) 市民が安心して暮らせるよう総合相談事業や生活支援事業を行うと
ともに、情報の提供に努めます
- ① 総合相談事業の充実強化
 - ② 「福祉あんしんセンター対馬」の設置運営
 - ③ 福祉資金貸付事業の実施
 - ④ 在宅福祉サービス事業の実施
 - ⑤ サロン事業、健康維持のための各種講習会の実施
 - ⑥ 対馬市シルバー人材センターの運営（厳原支所）
 - ⑦ 祭壇貸出事業（上県・上対馬支所）
 - ⑧ 広報・啓発活動の充実
 - ⑨ その他地域福祉活動の推進
- 実施計画(3) 社協と各種関係機関との連携を強化し、地域福祉の推進を図ります
- 実施計画(4) 定期的に市民ニーズ調査を行い社協活動の評価・見直しを行います

基本計画2 **市民に信頼される社協づくりをめざし安定した財源の 確保に努めます**

- 実施計画(1) 民間財源・公費財源の安定的な確保を目指します
- ① 会員制度の普及・啓蒙及び見直し検討
 - ② 寄付金・基金の有効活用の検討
 - ③ 共同募金事業への協力
 - ④ 補助金の安定確保と新たな受託事業及び民間助成事業の研究
 - ⑤ 民間財源使途の透明性の確保
- 実施計画(2) 事業収入財源確保のため健全な自主事業の運営に努めます
- ① 社協らしい在宅福祉サービス事業の展開と健全な運営
 - ② 地域ニーズに則した収益事業の研究

基本計画3 **市民の参画と安心・安全な社協運営のシステム作り**

積極的に社協事業が展開できる体制整備に努めます

- 実施計画(1) 事務局体制の強化を図ります
- 実施計画(2) 理事会・評議員会機能の強化と各種検討委員会の
設置について検討します
- 実施計画(3) 運営に関する専門家の登用により正確で安心・
安全な社協運営に努めます



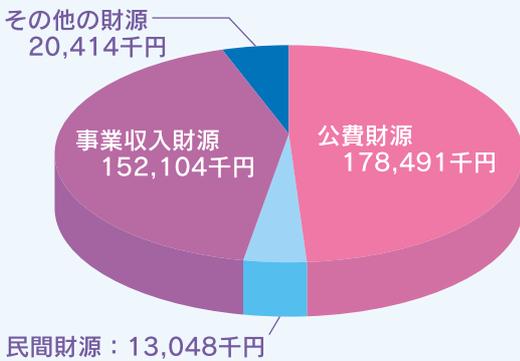
平成22年度 収支予算

平成22年度の対馬市社会福祉協議会の収入、支出予算は、それぞれ364,057千円（前年比103.3%）でその財源の主なもの、補助金や受託金の公費財源が49.0%と約半数を占め、地域福祉推進のための主な財源となる会費や寄付金の民間財源は、不況のあおりを受け3.6%にとどまっています。また、目的別の支出では人件費が68.9%とその大半を占めていますが、これは、介護保険事業等の在宅福祉事業がその事業内容の性質から人件費比率（77.4%）が高くなるのが原因と考えられます。平成22年度においては生活支援部門と地域福祉推進部門が前年比111.9%と大きく伸びています。これは昨年度策定された「社協基盤強化・活動中長期計画」に基づき「ふれあい学習事業」の地域拡大や「結婚相談所運営事業」等の新規事業を計画しており、その事業経費の増加によるものです。

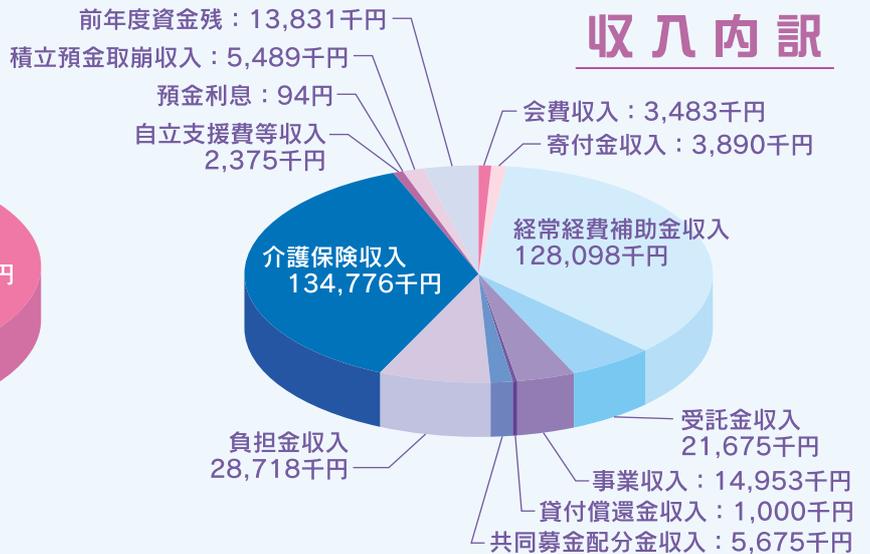
対馬市社協は今後も「誰もが安心して暮らすことができる福祉の対馬（しま）づくり」を目指し事業展開を進めて参りたいと思いますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

財源内訳

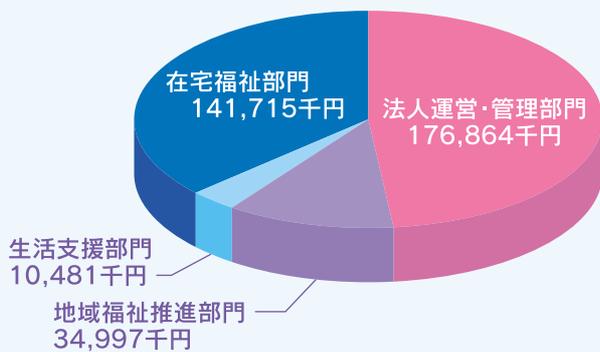
予算額計：364,057千円



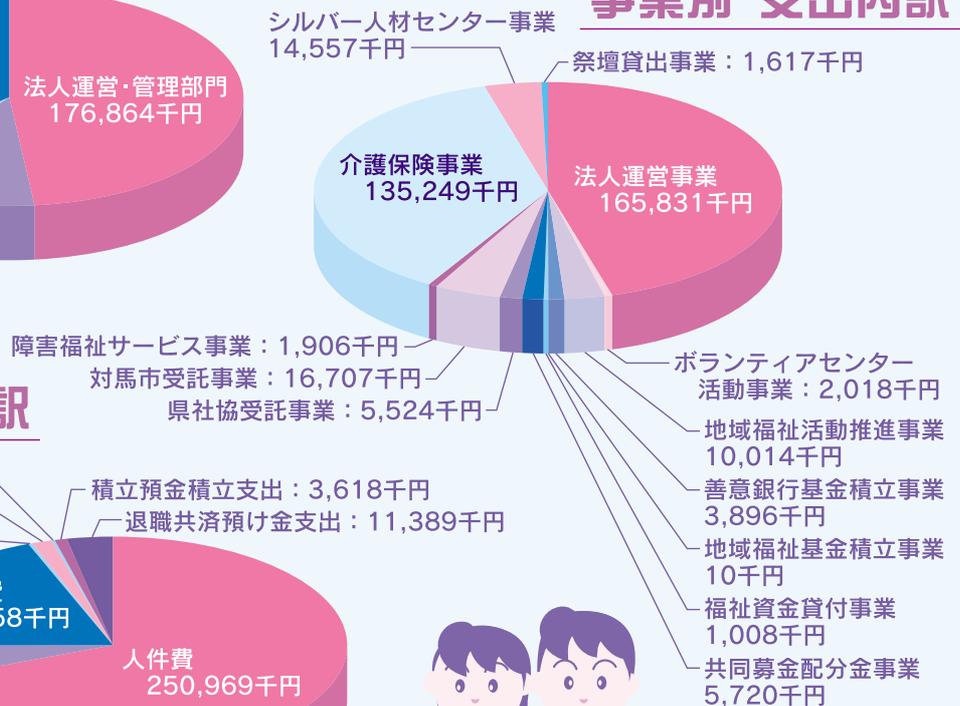
収入内訳



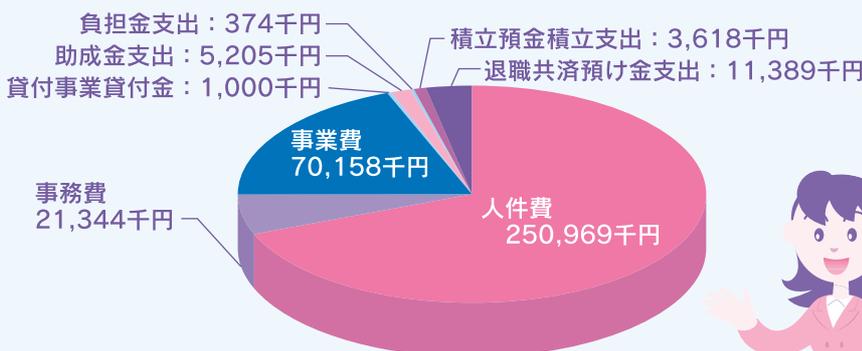
部門別 支出内訳



事業別 支出内訳



目的別 支出内訳





対馬の老人 達人塾 お年寄りの 主張大会

去る、3月14日、対馬市公会堂において対馬市民ボランティア連絡協議会主催による「対馬の老人 達人塾 お年寄りの主張大会」が開催されました。

この事業は、対馬市民ボランティア連絡協議会の会員同士が連携して、地域の課題を把握し、ボランティア活動を考えるきっかけづくりを目的に、今回初めて開催されたものです。

主張大会に先立ち「地域福祉日本一のボランティアを目指して」と題し、NPO法人福岡レクリエーション協会専務理事 佐藤靖典先生が講演され、「ボランティアは楽しくないとボランティアじゃない！ボランティアを行うにはまず健康な体、豊かな心が大事。自分でできることは自分でしましう!!」とご自身の歌にあわせた体操を織り交ぜながらの講演に、来

場者の皆さんは引き込まれていました。
その後、対馬市の高齢者を代表して6名の方々より、日頃感じていること思っていること的主張が行われました。
どの発表者も、発表時間8分の制限に、内容を凝縮することは難しかったようですが、250名もの来場者を前に、堂々と日頃抱いている思いを訴えると、会場からは惜しみない拍手がおくられていました。



今回の影の立て役者!?
総司会会の佐伯さん(左)と吉田さん(右)



佐藤先生の講演は、あっという間の90分間でした

★今回発表いただいた皆さま★



古藤 定さん
(上対馬町)

テーマ
「歳を重ねて
思うこと」

居住する地域のこと。お年寄りの経験を後世に残すため、若い人を導いていく必要があること。



長郷 ツ子コさん
(豊玉町)

テーマ
「できることを、
ひとつづつ」

25年間の漁協職員経験のこと。夫に先立たれ落ち込んでいた時、仲間との交流、助け合うことの重要性を感じたこと。



内山実宗さん
(厳原町)

テーマ
「愛語(あいご)と
戒語(かいご)」

老人クラブ活動を通して、地域の保護者と世代間交流ができたこと。



奥村明子さん
(上県町)

テーマ
「未来に
むかって」

心がけの3拍子健康であること。自分のできる仕事に挑戦すること。常に感謝を持つこと。



川崎 隆さん
(上県町)

テーマ
「年寄りの
本音と疑問」

戦前、戦後の日本を支えてきた世代のはずなのに…今の敬老の日が移動祝日になり納得できないこと。



築城算人さん
(美津島町)

テーマ
「私の小さな願い」

小さな願いは「ごみのポイ捨てゼロ!」「ゴミGメンの配置」



ホスターの部
優秀賞

厳原小学校5年
上野 すだちさん

正



優秀賞 厳原小学校5年
上野 すだちさん

誤

《ホスターの部 入選作品》
※入選者の学年については、入選当時のものです。



ホスターの部
佳作

加志々中学校1年
赤木 俊介さん



佳作 加志々中学校1年
赤木 俊介さん

お詫びと訂正

前回発行(3月)の対馬市社協だよりNo.22において、福祉作品展の記事を掲載いたしました。その中で誤りがございました。お詫びと共に訂正をいたします。
この件につきまして、入選者の方はおもてより、保護者様並びに関係各位に対しご迷惑をお掛け致しましたことを、心よりお詫び申し上げます。

ボランティアのページ

ボランティア
活動紹介

NPO法人

対馬の底力

HP <http://www4.ocn.ne.jp/~sokojk/>

ブログ <http://tsushimanosokodikara.blog25.fc2.com/>

代表 長瀬 勉

南北約82 km、東西18 km。

周りはすべて海に囲まれ、自然豊かで美しいわたしたちの島『対馬』
しかし、その海岸には・・・

一般ゴミや医療器具（注射器・薬品容器）又は海外からのゴミが漂着し、美しい島の景観を損なうばかりか、市民の生活を脅かしている状況が続いています。

また、対馬本来の自然の景観や基幹産業にも多大な影響が出ており、環境破壊や大気汚染にもつながる大きな問題となっています。

このような問題に対し、「自分たちの島は自分たちの力で」を合言葉に、2007年9月地域の有志が発起して、NPO法人「対馬の底力」を設立しました。

「対馬の底力」では、このような漂着ゴミの清掃、処理を活動の目的として、地域の住民や市民ボランティアはもとより、時にはお隣り韓国の大学生とも共同で、対馬の魅力ある美しい海を取り戻し、島の付加価値を高めていながら、環境美化と島民の安定に少しでも寄与できるよう清掃活動を通じて、環境の大切さを訴えていきたいと考えています。



海岸は漂着ゴミだらけです…ㄹ



みんなでチカラを合わせて拾っていきますㄹ



すっきりキレイになりましたㄹ



漂着ゴミの中にはこんな危険な物も!!



平成22年度 介護支援専門員実務研修受講試験のご案内

受験には一定の実務経験が必要です。「受験の手引」でご確認ください。

試験

- 日 時 10月24日(日) 10:00~
- 会 場 長崎大学、長崎国際大学 他
- 受験申込期間 7月1日(木)~30日(金)〈当日消印有効〉
※詳細は「受験の手引」をご確認ください。

「受験の手引」(受験申込書類等)

- 販売期間 7月1日(木)~30日(金)
- 価 格 1冊につき500円(税込)
- 入手方法 窓口購入もしくは郵送購入
※受験申込期間にご注意ください。

試験並びに「受験の手引」についての問い合わせ先

長崎県社会福祉協議会 福祉人材研修センター
〒852-8555 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター2階
電話：095-846-8657
試験情報ホームページアドレス：<http://www.nagasaki-pref-shakyo.jp/cmexam/>



御寄付御礼

社会福祉の推進のために、多くの方々から心温まる善意のご寄付をいただきました。ここに、ご芳名（敬称略）を掲載し、謹んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

お寄せいただきましたました寄付金等は、各種福祉事業や地域福祉活動の推進のために、活用させていただきます。

誠にありがとうございました。

（平成22年2月1日～平成22年4月30日受付分）

上対馬地区

- ▼大浦 憲喜（大浦）
- （亡・大浦 健彦）
- ▼大浦 美穂子（大浦）
- （亡・大浦 隆典）
- ▼阿比留 康成（富ヶ浦）
- （亡・阿比留 エミ子）
- ▼武末 智彦（比田勝）
- （亡・武末 倍生）
- ▼大石 哲生（西泊）
- （亡・大石 勇次）
- ▼神田 敏（一重）
- （亡・神田 艶子）
- ▼犬束 忠太郎（西泊）
- （亡・犬束 一記）
- ▼洲河 眞紀（豊）
- （亡・洲河 住江）
- ▼園田 益也（浜久須）
- （亡・園田 稲雄）
- ▼松尾 福廣（比田勝）
- （亡・松尾 道子）
- ▼梅野 三代子（鰯浦）
- （亡・梅野 林）

上県地区

- ▼上川 喜久子（大増）
- （亡・上川 忠市）
- ▼犬束 幹彦（西泊）
- （亡・犬束 節子）
- ▼大浦 洋典（大浦）
- （亡・大浦 満壽子）
- ▼坂田 和男（豊）
- （亡・坂田 賢司）
- ▼天瀬 寛爾（比田勝）
- （亡・天瀬 石子）
- ▼古藤 憲彦（一重）
- （亡・古藤 恒彦）
- ▼古藤 好郎（舟志）
- （亡・古藤 明）
- ▼梅野 美知枝（芦見）
- （亡・梅野 金市）
- ▼山田 喜久夫（鰯浦）
- （亡・山田 義憲）
- ▼早田 兄文（佐須奈）
- （亡・早田 守男）
- ▼武田 長子（鹿見）
- （亡・早田 マサ）

峰地区

- ▼佐伯 恵清（久原）
- （亡・佐伯 安子）
- ▼吉竹 正光（伊奈）
- （亡・吉竹 由子）
- ▼部原 初子（女連）
- （亡・部原 康己）
- ▼國分 敏久（吉田）
- （亡・國分 善治）
- ▼岡野 智子（志越）
- （亡・岡野 善男）
- ▼阿比留 正和（佐保）
- （亡・阿比留 二三枝）
- ▼阿比留 富生（唐洲）
- （亡・阿比留 トシエ）
- ▼阿比留 敏之（貝鮎）
- （亡・阿比留 ヨシ）
- ▼阿比留 和之（佐保）
- （亡・阿比留 力子）
- ▼中嶋 綾乃（大綱）
- （亡・中嶋 和義）

美津島地区

- ▼日高 義雄（鏝川）
- （亡・日高 徳恵）
- ▼村瀬 金剛（小綱）
- （亡・村瀬 松枝）
- ▼中島 朝代（大綱）
- （亡・中島 信義）
- ▼畑島 陽（雞知）
- （亡・畑島 政子）
- ▼小川 和善（吹崎）
- （亡・小川 茂彌）
- ▼日下部 環（尾崎）
- （亡・日下部 美貴子）
- ▼黒岩 光枝（竹敷）
- （亡・黒岩 武）
- ▼神宮 愛子（雞知）
- （亡・神宮 昌次）
- ▼西尾 由美子（雞知）
- （亡・西尾 多賀）
- ▼財部 健一（尾崎）
- （亡・財部 司）
- ▼辰巳 勝利（雞知）
- （亡・辰巳 春夫）

巖原地区

- ▼吉野 多実男（雞知）
- （亡・吉野 百合子）
- ▼犬束 初實（犬吠）
- （亡・犬束 キヨ子）
- ▼皆川 博幸（下原）
- （亡・皆川 勝利）
- ▼庄司 文万（西里）
- （亡・庄司 豪生）
- ▼深牧 明男（棧原）
- （亡・深牧 豊稔）
- ▼阿比留 栄子（日吉）
- （亡・阿比留 清美）
- ▼米田 礼次郎（日吉）
- （亡・米田 栄子）
- ▼桐谷 光（椎根）
- （亡・桐谷 善幸）
- ▼山崎 拓也（阿連）
- （亡・山崎 前）
- ▼永留 哲（国分）
- （亡・品川 瑛子）

あなたの寄付が地域の福祉に役立てられます





お知らせ



● 無料法律相談開催予定(6月~9月) ●

月 日	会 場	担当弁護士事務所
6月16日(水)	対馬市総合福祉保健センター (美津島)	法テラス対馬法律事務所
6月30日(水)	上県町地域福祉センター	対馬ひまわり基金法律事務所
7月 7日(水)	対馬市交流センター (厳原)	法テラス対馬法律事務所
7月14日(水)	対馬市総合福祉保健センター (美津島)	対馬ひまわり基金法律事務所
7月28日(水)	峰町保健福祉センター	法テラス対馬法律事務所
8月 4日(水)	上県町地域福祉センター	法テラス対馬法律事務所
8月25日(水)	対馬市総合福祉保健センター (美津島)	法テラス対馬法律事務所
9月 1日(水)	豊玉町福祉センター	対馬ひまわり基金法律事務所
9月 8日(水)	対馬市交流センター (厳原)	法テラス対馬法律事務所
9月15日(水)	対馬市総合福祉保健センター (美津島)	対馬ひまわり基金法律事務所

* 開催時間は、午後1時~4時まで

* 相談を希望される方は、必ず事前(前日の午後4時まで)に予約をお願いいたします。

予約・お問い合わせは、対馬市社会福祉協議会 本所または各支所へ



あいさつ+1(プラスワン)コーナー

このコーナーでは、昨年11月に豊玉・峰管内で実施いたしましたあいさつ+1(プラスワン)運動にご協力いただいた方々からのアンケートをご紹介します。

今年は子どもたちからの声かけが早くなったと思います。元気な声かけと笑顔の姿が目立つようになったと思いますが、大人同士のあいさつが今ひとつだと思われま。

本協議会の主旨、スローガンによるあいさつ運動「一人の100歩より100人の一歩から」正しくことを得た姿勢と感銘いたします。自己の人生の満悦のため今後とも努力したいと思っています。



対馬市社協会員募集!

今年度も、7月から対馬市社協の会員の募集を行います。どうか多くの方々に対馬市社協のサポーターとして会員にご加入いただきますようご協力をお願いいたします。

一般会員	(1世帯) 年額 300円以上	世帯の皆様
賛助会員	(1口) 年額 1,000円以上	団体または一般会員以外の世帯の皆様
法人会員	(1口) 年額 3,000円以上	法人、団体の皆様

皆さまからの声をお待ちしています

社協だよりに対するご質問やその他、何かございましたら下記までご連絡ください。

〈連絡先〉 TEL 0920-58-1432 FAX 0920-58-1183

E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp



この広報誌は、皆様から寄せられた会費並びに共同募金配分金で作られています。

8

■この用紙は地球環境保護のため再生紙を利用しています。